



■ 特撮文化の拠点施設が誕生

須賀川 特撮アーカイブセンター



5撮影で実際に使用されたカメラ 67多目的スペースのミニチュアセットの世界に、かわいらしい巨人現る 8特撮風景がデザインされた踊り場のシルエット



1島倉さんの背景画を背に飛び交う航空機の模型 2収蔵庫の貴重な資料の数々 3ウルトラセブンなどの全身用スーツの頭部 4「日本海大海戦」(1969年)で使用された戦艦三笠

シルエット怪獣の名前は…
「スカキング」に決定!



センターの外壁に描かれているシルエット怪獣の名前を募集し、20日間で1,956通の応募をいただきました。

必殺技 須賀川名産のきゅうりを丸ごと一本、口から発射!
弱点 眠くなりやすい…
特徴 二本の角で困っている人を探して助ける。きゅうりが大好物で、将来は、きゅうり天王祭に行きたいと思っている…

特撮用背景画は、本物の空と見間違ふようなすばらしさです。また、天井からは、航空機の模型などが実際の撮影と同じ方法でつられていきます。図書室 学術書から雑誌、児童書まで、特撮に関する様々な種類の本を読むことができます。

多目的スペース 約3.6メートル×5.4メートルのミニチュアセットがあります。細部に特撮技術が施されていて、カメラを通して見ると、大迫力のミニチュアの世界を体感できます。ご家族やご友人と一緒に、お気に入りのアングルを探してみてください。

多くの人に親しまれ 特撮文化を後世へ

市では、特撮文化の推進とセンターの円滑な運営のため、NPO法人アニメ特撮アーカイブ機構(ATAIC)と連携協定を締結しました。ATAICは、特撮やアニメに関する様々な資料の保全・普及啓発を行い、アニメと特撮の文化を継承するアーカイブ活動を行っています。センターの開館準備にも全面的にご協力いただきました。

特撮アーカイブセンターは、オンリーワンの施設として、特撮技術の魅力と感動を次世代へ引き継いでいきます。文化振興課 ☎(88)9172

施設概要

所在地 柱田字中地前22番地(旧岩瀬農村環境改善センター)
TEL (94)5200
開館時間 午前9時～午後5時
休館日 火曜日(祝日のときは翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)
入館料 無料
公式Twitter @suka_tokusatsu